令和4年度第1回土佐清水市総合教育会議 会議概要

■開催日時 令和4年9月2日（金）10:00～10:35

■開催場所 市役所2階 市長応接室

■出席者

【構成員】土佐清水市長		泥谷 光信
土佐清水市教育委員会	教育長	岡崎 哲也
	委員	山下 佳一（教育長職務代理者）
	委員	矢野川 正道
	委員	門原 和光

【市長部局事務局】企画財政課長	横山 英幸（司会進行）
企画財政課長補佐	竹池 亮

【教育委員会事務局】こども未来課長	中津 恵子
こども未来課長補佐	池 正澄
こども未来課指導主事	宮上 美智子

■会議次第

1 泥谷市長あいさつ

2 議事

①全国学力・学習状況調査の結果について

②保育所・小学校統合実施プランについて

■議事概要

①全国学力・学習状況調査の結果について

〔中津こども未来課長説明〕

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について資料をもとに説明

小学校6年生を対象に国語・算数・理科の3教科を実施。本市は、全国・高知県・西部教育事務所管内すべてで下回った。

中学校3年生を対象に国語・数学・理科の3教科を実施。国語は、全国と同率、高知県より若干高く、西部管内より若干低い結果となった。

理科は、全国及び西部管内を下回り、高知県を上回っている。

数学は、全国・高知県・西部管内を大きく下回る結果となり、特に数学に課題がある。

今回、問題の傾向が変わったことも影響しているが、小中学校とも記述式問題の正答率が低い傾向となっている。

結果を受けて、各学校で分析するとともに対策を検討するが、学力向上検討委員会でも分析し、取組を進めていく。

〔岡崎教育長〕

西部教育事務所からの指示のもと取組を進めてきたが、中学校数学の問題の傾向が変わっていた。

また、学習指導要領の移行措置で中学校3年生で実施していたものが、中学校1年生の最初に移り、2年間全く実施していないことも影響している。

②保育所・小学校統合実施プランについて

〔中津こども未来課長説明〕

「保育園・小学校統合実施プラン」は、清水の保育・教育の在り方検討委員会の最終報告を受け、園児及び児童数の今後の推計をもとに教育委員会で協議し作成した。

保育所及び小学校の規模等の適正化に関して、保育所は10名以上、小学校は20名以上、欠学年が2学年以上とならないことなどが望ましいとして、一定の規模を確保しながら取組を進めていく。

プラン上では、令和5年度に下川口保育園を三崎保育園へ、令和6年度に下ノ加江及び足摺岬保育園をきらら清水保育園へ、下ノ加江小及び幡陽小を清水小へ、下川口小を三崎小へ、令和7年度に下川口小を三崎小へそれぞれ統合する計画としている。

〔岡崎教育長〕

下川口保育園の保護者からも統合の話が出ている。

〔泥谷市長〕

令和6年度以降の対象校等については、丁寧な対応を心掛けてほしい。

〔岡崎教育長〕

市議会全員協議会で説明するとともに、保護者等へも丁寧な説明により理解を求めている。

〔山下委員〕

保護者の考え方も変わってきているし、道路改良も進み地理的にも近くなっている。

下ノ加江小及び幡陽小は、児童数が少ないため授業ができない。

〔矢野川委員〕

現在の出生率ではやむを得ないと思う。

小学校の統合は、保育園に影響していく。

〔門原委員〕

子どもの将来を考えると、集団教育は必要だと思う。

〔岡崎教育長〕

この状態が続けば、いずれは三崎小と清水小になるだろう。

〔泥谷市長〕

新型コロナウイルス感染症拡大により、出産も控えている。大月町も出生数はかなり少ないらしい。

子育て環境日本一を目指し、18歳までの医療費無料化、赤ちゃん紙おむつ粉ミルク等購入助成事業、給食センター開設、奨学資金制度の充実など、取り組んできたつもりだが。

〔岡崎教育長〕

清水中から清水高校へは20名程度の進学となりそうだ。

〔泥谷市長〕

国のコロナ交付金も活用して給食費の無料化も実施する。

[矢野川委員]

学校への支援員等の配置も含めて、財政的な支援はできていると思う。

[横山企画財政課長]

その他なければこれにて閉会する。